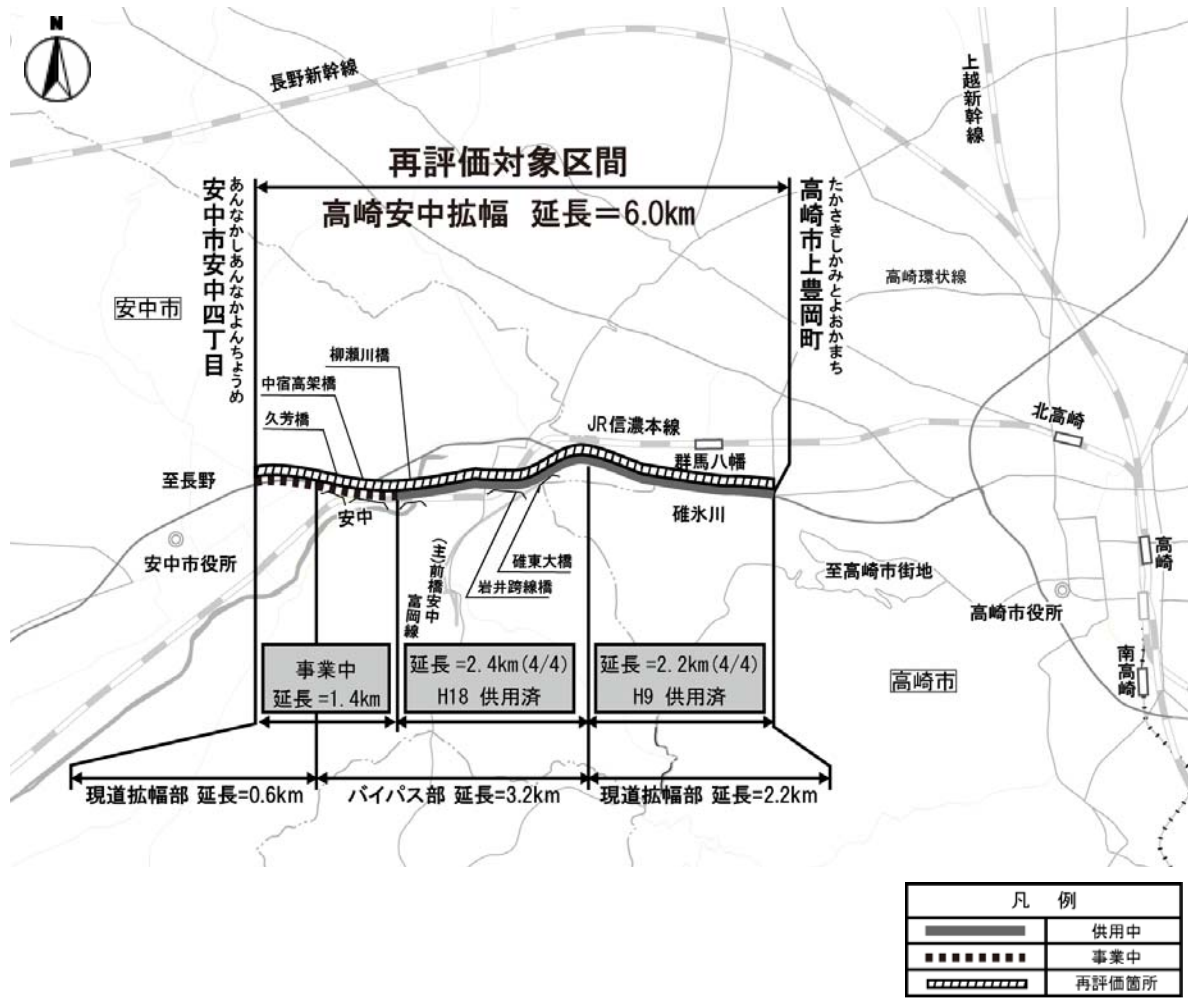


再評価結果（平成24年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：三浦 真紀

事業名 一般国道 ^{たかさきあんなかかくふく} 18号高崎安中拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 関東地方整備局
起終点 自：群馬県高崎市上豊岡町 至：群馬県安中市安中四丁目			延長	6.0km
事業概要 国道18号は、高崎市から安中市・上田市・長野市等の主要都市を通過し上越市に至る総延長約220kmの主要幹線道路である。高崎安中拡幅は、高崎市～安中市の交通混雑の解消や交通安全の確保を目的に計画された、延長6.0kmのバイパス及び現道拡幅事業である。				
S58年度事業化		S59年度都市計画決定		S60年度用地着手
全体事業費		約400億円		事業進捗率 94%
計画交通量		33,100～54,800台/日		
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.3 (残事業) 7.2	総費用 (残事業)/(事業全体) 25/668億円 〔事業費：20/646億円〕 〔維持管理費：4.9/22億円〕	総便益 (残事業)/(事業全体) 180/894億円 〔走行時間短縮便益：179/860億円〕 〔走行経費減少便益：0.63/33億円〕 〔交通事故減少便益：0.09/1.5億円〕	基準年 平成23年
感度分析の結果 【事業全体】交通量：B/C=1.3～1.4（交通量 ±10%）【残事業】交通量：B/C= 6.8～ 7.2（交通量 ±10%） 事業費：B/C=1.3～1.3（事業費 ±10%） 事業費：B/C= 6.7～ 7.8（事業費 ±10%） 事業期間：B/C=1.2～1.5（事業期間±2年） 事業期間：B/C= 6.7～ 7.5（事業期間±2年）				
事業の効果等 (1) 交通混雑の緩和 ・当該区間の損失時間は157.9千人時間/年・kmであり、全国平均の約6倍。 ・高崎安中拡幅の整備により、交通の円滑化が図られ、渋滞緩和が見込まれる。 (2) 安全安心な通行の確保 ・当該区間の平均死傷事故率は133.3件/億台・kmであり、全国平均の約1.3倍。 ・高崎安中拡幅の整備により、交通の円滑化が図られ、交通事故の減少が見込まれる。				
関係する地方公共団体等の意見 群馬県知事の意見：高崎～安中間の渋滞解消や交通安全確保のために、1日も早い事業完成を目指していただきたい。特に、現在施工中のバイパス区間について、早期に4車線化を図られたい。また、2車線区間となっている安中市街地においても慢性的な渋滞が発生しているため、事業区間の延伸を検討されたい。				
事業評価監視委員会の意見 事業の継続を承認する。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 高崎安中拡幅の供用に伴い、沿線には多くの商業・工業施設などが立地している。				
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・現道拡幅部については、平成9年度までに2.8kmのうち、2.2kmの4/4車線供用を図った。 ・バイパス部は、平成18年度までに3.2kmのうち2.4kmの4/4車線供用を図り、現在、残区間(0.8km)の4車線化に向け整備を推進している。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ・現道拡幅部の終点部(0.6km)は、今後の交通状況、社会経済状況の変化等を踏まえ、現在整備中のバイパス部を供用後に着手予定。 ・バイパス部は、残区間(0.8km)の4車線化に向け、引き続き整備を推進する。				
施設の構造や工法の変更等 ー				
対応方針		事業継続		
対応方針決定の理由 以上の事業の効果及び進捗状況、関係する地方公共団体等の意見、事業評価監視委員会による審議を踏まえると、事業の必要性、重要性は高いと考えられる。				

事業概要図



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。
 ※総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。